

令和元年 魚野川アユ試し釣りの結果 (7月5日11:00~14:00)

地区		採捕数	最大		平均	
湯沢	3人	48尾	16.5 cm	40.8 g	14.9 cm	31.9 g
石打	2人	15尾	16.4 cm	40.7 g	15.1 cm	35.3 g
塩沢	2人	0尾				
六日町	2人	0尾				
城内	2人	0尾				
大巻	2人	2尾	15.1 cm	32.4 g	14.4 cm	27.7 g
大崎	2人	22尾	17.4 cm	55.4 g	14.3 cm	27.1 g
浦佐	2人	10尾	17.8 cm	47.3 g	13.5 cm	22.6 g
伊米ヶ崎	2人	3尾	14.1 cm	22.7 g	13.7 cm	23.1 g
佐梨	2人	9尾	15.7 cm	37.0 g	14.2 cm	26.0 g
小出	2人	16尾	15.2 cm	31.7 g	13.1 cm	20.2 g
四日町	2人	4尾	17.0 cm	50.2 g	14.7 cm	29.7 g
破間	2人	19尾	16.9 cm	45.6 g	14.9 cm	30.2 g

アユ試し釣りの考察

- ・上流域から下流域小出までの試し釣りの釣果は、表のとおりでした。
- ・前日、小出地区では90cmの増水と濁りが発生し、その影響で水温の低下や流心は垢が飛んでいる状況でした。
- ・しかし、ダムのない魚野川は、試し釣りの時点には、増水前10~20cm高まで回復し、濁りもとれました。
- ・全体的に、今年はアユが多くみられますが、梅雨の降雨も多く、水温が上がらなかったため、県内他の河川同様に今年はやや小ぶりです。
- ・今回は、水温の高いところのアユが、釣れていました。一方、清津川の取水、三国川合流、伏流水の影響のある水温の低い地域では、例年同様に、アユは見えても追わない状況にありました。
- ・全体的には、アユやハミ跡は多くみえます。一部を除き、まだ、アユが出来ていない状態ですので、これから水温が上がり、成長と共に追いも出てくるでしょう。
- ・また、下流域では天然遡上アユも多く確認できていますので、遅くまで楽しめるものと期待しています。